

KOALAの目的

NPO 法人 KOALA(都市創生交通ネットワーク@関西)は、関西地区の地域文化に根ざした、歩くまちと公共交通中心の環境にやさしい都市を目指して、以下の三点を重点項目として活動しています。

既存の交通ネットワークの再構築

公共交通の拡充・強化には、既存の公共交通システムの再構築が不可欠です。KOALAは、鉄道とバスの連携強化、異なる鉄道路線間のハード・ソフト両面のネットワーク強化、また、タクシー、自転車との連携を提言しています。特に、ゾーン運賃制度や運行情報システム等、ソフト面のシステム改善について提言活動をしています。

次世代都市交通システムの提案

関西地区での持続可能なまちづくりを実現するためには次世代公共交通システムの導入が必要課題です。

特にLRT(新型路面電車)やBRT(高度バスシステム)等の新しい路面公共交通システムの導入可能性について、最新情報に基づく評価による提言をしています。

関西における関連団体との連携

持続可能な都市を実現するためには、交通・環境・まちづくりに関わる諸活動団体との連携が不可欠です。各地域での活動から得られた経験・知識を共有しあうことで、相互に活動力を高め合うことが必要です。

関西全域から集まった会員間で情報を共有し、各地域の諸団体との連絡・連携を強化し、オール関西の協業体制の構築を目指しています。



架線のないボルドーのトラム 2009.4 (重田裕章撮影)

お問い合わせ

NPO 法人 KOALA

〒611-0025 京都府宇治市神明宮西 1-2

理事長 森 五宏

(Tel & Fax) 0774-46-3656

(E-mail) koala.lrt@gmail.com

(HP) <http://npo-koala.com>



ハルカスをバックに走行中の阪堺電軌の最新車両「堺トラム」
2014.10
(重田裕章撮影)



Kansai co-Operation Alliance
of LRT and public transport
for Architecture of cities

～ 関西まちづくり交通ネットワークをめざして～

・講座や研究会活動等を通じて、21世紀の都市交通を自立的に実現するための知識・人的ネットワークの形成

・既存の公共交通(鉄道・バス)・タクシー・自転車等の交通システム・ネットワークの再構築、活性化策の検討、提言

・LRT等の次世代交通システムの導入、マイカー規制やTDMをはじめとする自動車対策の検討、提言

・関西地区の魅力的な交通まちづくり、関西地域の経済活性化に寄与できる活動を目指していきます。

スローガンは **有言実行**

KOALAの由来

Kansai Co-Operation Alliance of LRT and Public Transport
for Architecture of Cities

(英語名称の略字)

コアラのようなスローライフの実現を目指します

KOALAの活動

関西地区における交通まちづくりのプラットフォームを目指して2007年に任意団体として設立、2013年にNPO法人となりました。現在、30数名の会員で構成され、関西における様々な交通まちづくりに関する活動を行っています。会員は、大学教授、都市交通研究者をはじめ、企業経営者、弁護士、NGO職員、鉄道メーカー、交通局員、学生等、関西地区全域からのメンバーで活動しています。

シンポジウムの開催

KOALAは、公共交通を活かした持続可能な都市の実現を提言する各種シンポジウムを開催しています。

2008年に、大阪市内にて道路財源を考えるシンポジウムを開催しました。道路特定財源制度の見直しに際し、公共交通中心の財政制度へ改革することを目的としたものです。

2010年は、阪堺電車を貸し切り、阪堺線存続問題を考える車内ワークショップ、2014年にはフランスの交通政策に関する講演会を「RACDA大阪・堺」と共催しています。

交通政策に対する提言活動

KOALAの重要な活動の一つは、公共交通政策の検討とその立案による提言活動です。

2008年度より、「京都市公共交通シームレス運賃構想」に取り組んでいます。シームレス運賃構想とは、異なる交通手段の乗り継ぎ時の初乗り運賃2度払いを撤廃し、ゾーン運賃制度導入により公共交通機関を安価に利用できるようにする提言です。この運賃制度を実現することで、余計なインフラを建設することなく京都の交通の円滑化を図

る事が出来ます。KOALAでは、比較的短距離かつ利用客数が多く、鉄道運賃が360円と高額な京都駅～四条河原町間を対象を絞って、関係者(京都市、阪急事業者、商店会)に改善策の提言を行いました。

2012年には京阪神間を中心に交通バリアフリー問題についてハード、ソフト面の実態調査を実施しました。

2013年には大阪市交通局の民営化問題に関して、利用者目線からの利便性向上と経営効率化の観点から「大阪市交通局の再編に関する意見書」を作成して、大阪市交通局、大阪市、市議会、経済団体等へ提言を行いました。

交通まちづくり活動のプラットフォーム

関西各地の関連団体とのネットワーク強化、全国的な運動との連携もKOALAの重要な活動テーマです。KOALAは、「全国路面電車ネットワーク」に加盟し、全国の交通まちづくり団体との協力関係を構築しています。2009年からは京都・枚方・和歌山・大阪・堺の交通まちづくり団体間での連携体制を発足させ、協働のイベントとして先ず、「和歌山電鉄との意見交換会」を開催し、環境団体「道路環境市民塾」主催のシンポジウム「地球温暖化と地域公共交通」に協賛しました。その後、「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」「全国路面電車サミット」等、全国大会にも代表団を派遣し成果報告を行い、2012年開催の「全国路面電車サミット 大阪・堺大会」には実行委員会に参画して大会を運営しました。

レクチャーや国際交流

KOALAでは、全国各地ならびに海外からの研修を受け入れています。札幌市にある北海学園大学経済学部浅妻ゼミの地域研修を受け入れ、スウェーデンからの都市交

通視察団との交流も図りました。

KOALAの活動詳細は、公式ホームページに掲載しております。是非ともご覧下さい

KOALA 公式 HP: <http://npo-koala.com>

道路特定財源シンポジウム (2008年)



入会のご案内

活動内容は例会、研究会、提言、諸団体との交流まで幅広く、都市交通の利便性向上を最重点課題として取り組んでいます。

詳しくは事務局にお問い合わせください。

(E-mail) koala.lrt@gmail.com

< 入会金 >

一般会員 1,000 円

< 年会費 >

一般会員 3,000 円 学生会員 2,000 円

< 賛助会員 >

3,000円(個人)、10,000円(団体)

2104.10版